【一の瀬焼】
塩釉波紋 長方皿 20,000円 [一の瀬焼 丸田窯]

【小石原焼】
スクエア鉢 3,300円
丸コップ 1,500円
[小石原焼秀山窯]

【博多織】
テーブルセンター 献上柄ロング 18,000円 [筑前織物]

いちのせやき

一の瀬焼

筑後地区の西方、うきは市浮羽町が誇る伝統工芸「一の瀬焼」。今から400年前、豊臣秀吉が朝鮮に出兵した際、連れ帰った陶工たちによって開かれたのが始まりと言われています。

近世は久留米藩の御用窯となっていましたが、明治維新の際しばらく廃窯となり、昭和34年に再興し、現在6軒の窯元があり、それぞれ独自の陶風で親しまれています。

だえん弁当箱
小 6,000円／中 6,500円
[博多曲物 玉樹]

福岡県知事指定特産工芸品

博多曲物

はかたまげもの

応神天皇ご誕生の際、胞衣を納める木箱を作ったことに始まると伝えられています。薄く切った杉や檜をお湯で煮込み、材料がさめないうちに一定の大きさに曲げ、木のはさみで止めていきます。板の端を桜の木の皮でとじ合わせて仕上げます。飯びつ、弁当箱など木の味わいを生かした生活用品として愛用されています。